

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	情報	科目	情報 I	学年	第 1 学年	類型	
単位数	2 単位	教科書	高等学校 改訂版 社会と情報	(第一学習社)			
補助教材							

学習目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身に付ける。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考查
1 学期	4月	第1章 情報社会と私たち	情報社会で責任をもって生活していくために、情報に関する法規や制度に適切に対応する力、情報モラルに配慮して情報を発信する力、情報セキュリティを確保する力を身に付ける。 メディアの特性について、その変遷も踏まえて理解する。 コミュニケーション手段の変遷について理解し、状況によってどの手段を用いるのが適切かを考える。	期末 考查
		1節 情報社会		
	5月	2節 情報社会の法規と権利		
		3節 情報技術が築く新しい社会		
	6月	第2章 メディアとデザイン		
2 学期		1節 メディアとコミュニケーション	身近な情報システムや情報サービスに関して調べ、便利な点以外の部分についても考える。 アナログとデジタルの特性や、コンピュータ上で数値・文字・画像・音・動画がどのように表現されるかを学ぶ。 情報化が生み出したあらたな犯罪に触れ、正しい知識と判断力、メディアリテラシーの重要性を理解する。 ブレインストーミングやグループディスカッション等の問題発見・解決の手法を学ぶ。 データの分類方法について理解する。	期末 考查
	7月	2節 情報デザイン		
		3節 情報デザインの実践		
	8月	第3章 システムとデジタル化		
		1節 情報システムの構成		
	9月	2節 情報のデジタル化		
	10月	第4章 ネットワークとセキュリティ		
3 学期		1節 情報通信ネットワーク	モデル化やシミュレーションが社会の問題解決に果たす役割について学ぶ。 アルゴリズムの基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いてアルゴリズムを表現する方法を学ぶ。	学年 末 考 査
	11月	2節 情報セキュリティ		
		第5章 問題解決とその方法		
	12月	1節 問題解決		
		2節 データの活用		
	1月	3節 モデル化		
		4節 シミュレーション		
	2月	第6章 アルゴリズムとプログラミング		
		1節 プログラミングの方法		
	3月	2節 プログラミングの実践		

学習の方法	日頃の生活において、パソコンやスマートフォンが欠かせない時代となりました。今後もITは進歩していくことが予想され、そのような社会の中で活躍していくには、あらたなITビジネスを生み出すアイデアの想像力、大小さまざまな問題を解決するための分析力・構成員力・統合力などが必要です。それらの力の基礎となるのが、「情報」の基礎知識です。情報モラルを考えながら実習中心の学習に意欲的に取り組みましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考查の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、実習での作品、提出物（課題、学習プリント等）・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		